



名山砲第七九連隊

通稱號 奏二二一一五八

郵便所名

隊別	連隊本部	第一大隊本部	第一中隊	第二中隊
隊長名 (内は先代を示す) 中佐 成川 一郎 副官 中尉 中澤 正次 聯隊指揮班長 中尉 阿部 秋主 聯隊段列長 中尉 濱口 善吉 通信係 少尉 中野 大西 軍醫 中尉 大西	少佐 鈴木 重信 指揮班長 中尉 吉田 清一 少尉 奥山 一郎 少尉 中西 重男	中尉 土屋 忠雄	中尉 佐藤 甚一	
關人 戰時 人員	141			
駐屯地 南 羅 關 隘				
戰鬥間の狀況及損耗	第二八九聯隊第一大隊に配属地機集 終戦時大隊砲(路隊)	第二八九聯隊第二大隊に配属	第二九〇聯隊に配属す(中隊長主力) 一ヶ小隊のみ月明山	第二八九聯隊第二大隊(配属、戰鬥間砲三 門を以つて軍直隊砲兵として開隊(延吉)に 派遣される。中隊長の指揮する一ヶ小隊
終戦後の人員變動				
作業大隊より 入「ソ」迄の變動	一〇、二三、クラスキト田 發一月三日作業地コト モリスク西北方二〇〇軒 ルモリヤ地機攻撃 第三〇一、第三〇四、第三 〇五、第三〇七各分所)	八二二、間島第七大隊 長少尉石川新平 八二二、間島田發		一〇、二三、クラスキト田 發一月三日作業地コト モリスク西北方二〇〇軒 ルモリヤ地機攻撃
除別計				
滿洲殘留				
收容所	第一八八收容所 ライダ 第七九收容所 エラブカ 八月二四日 クラスキ 九月一日 コムソモリスク			
所入				
死亡				
滿洲より 歸還人員				
計				
者數				

八、一〇、本隊醫務隊の移動 八、一六、管線一部交換せ る中隊あり	八、一五、古茂山の第四中 隊に合流 南陽に於て陣地構築 陣地の構築本部に合流せん とするも、茂山より成興入隊 半隊が後隊隊除の役不明 三中队の一隊中隊長を含む 一ヶ小隊、將校は捕獲され 一名、第一中隊一名、第三中 隊一名、砲手一〇名、砲手 第一中隊一〇名、第三中隊 二〇名	八、一七、一部隊にて武 装解除主力は八月一八日か ら一九日	八、二〇、團員より間島収 容所へ	八、二六、家族等捕縛のため 村山中尉以下九二名を捕縛 除となる 鮮系は襦袢被服を支給され 解散	九、一、延吉にて作業第七 大隊に編入	十一月下旬入「ソ」コマン ド、モリス、 連行五〇〇名 鮮系四〇〇名
--	---	-------------------------------------	---------------------	---	-----------------------	--

2496

第一隊大段列	第三中隊	第二中隊	第一中隊	第一隊本部	連隊本部
少尉 川瀬 信和	中尉 大竹 新 少尉 白澤 昂 見士 浦上 昂	中尉 佐藤 甚一	中尉 土屋 忠雄	少佐 鈴木 重信 指揮班長 吉田 清一 中尉 奥山 一郎 少尉 中西 重男	中佐 成川 一郎 副官 中澤 正次 中尉 阿部 秋主 中尉 濱口 善吉 通信班長 中野 大西 軍醫中尉 大西
坪 蒼	利 豊	山明月	利 豊	利 豊	南 羅
坪地厚	利 豊	山明月	利 豊	利 豊	南 羅
歩兵第二九〇中隊に配属せらる 鮮系隊員を捕縛せし 八、一九、團員にて武装解除	第二八九中隊第一大隊に配属、戦半回連三 門を以つて軍政隊兵として間島(延吉)に 派遣される。中隊長の指揮する一ヶ小隊が 戦車攻撃急襲のため出陣 八月一七日停戦を知り、歸隊途中「ソ」軍政 車と遭遇攻撃損害なし	第二九〇中隊に配属す(中隊長主力) 一ヶ小隊のみ月明山	第二八九中隊第二大隊に配属	第二八九中隊第一大隊に配属陣地構築 終戦時大隊隊(歸隊)	南陽より捕縛された鮮系各中隊の捕縛及び 歩兵隊本部に捕縛す 八、一九、團員にて武装解除
將校、兵は区分さる					
八、二二、間島第七大隊 少尉石川 義平 八、二二、間島出資	一〇、二三、クラスキー出 發一、三、ロムンモリス タ西北方二〇〇軒ホルモリ ン地区へ入植 大竹中尉は間島にて病弱者 大隊を編成入「ソ」			一〇、二三、クラスキー出 發一、三、ロムンモリス タ西北方二〇〇軒ホルモリ ン地区へ入植 第三〇一、第三〇四、第三 〇五、第三〇七各分所へ	

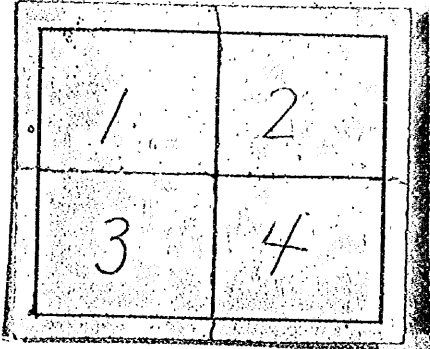
第一大隊段列	第三中隊	第二中隊	第一中隊	第一大隊本部	本部
少尉 川瀬 信和	中尉 大竹 新 少尉 白澤 克 見士 淵上 昂	中尉 佐藤 甚一	中尉 土屋 忠雄	少佐 鈴木 重信 指揮班長 吉田 清一 中尉 奥山 一郎 少尉 中西 重男	中佐 坂井 一郎 副官 中澤 正次 聯隊指揮班長 阿部 秋主 中隊長 淡口 善吉 通信係 中野 大西 軍醫 中尉 大西
			141		
坪 蒼					南 羅
坪地厚	利 豊	山明月	利 豊	利 豊	關 隘
歩兵第二九〇聯隊に配属せらる。 鮮満國境に移動戦なし。 八、一九、國境にて武装解除。	第二八九聯隊第二大隊へ配属、戦半間砲三門を以て軍直轄砲兵として間島延吉にて派遣される。中隊長の指揮する一ヶ小隊が戦車攻撃急攻のため出陣。八月十七日停戦を知り、歸隊途中「ソ」軍戦車と遭遇攻撃損害なし。	第二九〇聯隊に配属す（中隊長主力） 一ヶ小隊のみ月明山	第二八九聯隊第二大隊に配属	第二八九聯隊第一大隊に配属陣地構築 終戦時大隊砲へ歸隊	南羅より撤退したる各中隊の部隊及一連歩兵部隊に配属す。 八、一九、國境にて武装解除
將校、兵は區分さる。					
一〇、二二、入「ソ」	一〇、二二、シラスキイ田 一〇、二二、コムンモリス ノ西北方二〇〇軒ホルモリス ン地帯へ入植 大竹中尉は間島にて病弱者 大隊を編成入「ソ」		八、二二、間島第七大隊 長少尉石川新平 八、二二、間島出發	一〇、二二、グラスキイ田 發一月三日作業地ニムン モリスノ西北方二〇〇軒ホル モリスノ地帯に駐營 第三〇一、第三〇四、第三 〇五、第三〇七各分所へ	第一八八收容所 ライダ 第七九收容所 ニラブカ 八月二十四日 グラスキイ 九月一日 コムンモリス

0549

山 72 79

山 72 79  
山 72 79  
山 72 79

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0001  
0002  
0003  
0004  
0005

全般概要		第一方面軍第三軍 第七九師團		部隊名山砲第七九連隊		通稱號奏二一一五八		郵便所名	
轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		編制人員		20. 2. 6 2496		隊別	
隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊長名 (内は先代を示す)	開人 戦時員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動
中尉 伊藤 三郎	中尉 阿部善右衛門 神田	中尉 高倉	大尉 濱地 定義 中尉 吉田 孫助	南陽面 坪地厚	坪地厚	山茂古	坪地厚	嶺霧雲	八、七、羅南より陣地構築のため盛源歩兵 第二八九隊隊へ配属 八、二一、園田へ移動 二二、五、延吉へ移動
水口野岸に歩兵部隊配属して陣地構築 八、一八、園田にて集結武装解除		八、當季(二六〇名、古茂山に歩兵部隊配 属となり陣地構築 八、一八、園田集結武装解除		水口野岸に歩兵部隊配属となり陣地構築 八、一八、園田集結武装解除		八、當季(二六〇名、古茂山に歩兵部隊配 属となり陣地構築 八、一八、園田集結武装解除		八、七、羅南より陣地構築のため盛源歩兵 第二八九隊隊へ配属 八、二一、園田へ移動 二二、五、延吉へ移動	
武装解除後將校兵は區分せられ師団は各部 隊へ離隊逃亡す		九、三、第五大隊を編成 長中尉向野保		入「ソ」人員		隊別計		滿洲残留	
收		所		容					

第	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	隊別	
					隊長名 (内は先代を示す)	開人 時員
少尉 上田 潤一	中尉 伊藤 三郎	中尉 阿部善右衛門 神田	中尉 高倉	大尉 濱地 定義 中尉 吉田 孫助	隊長名	開人 時員
平地厚	嶺霧雲	源慶 坪地厚	山茂古	面方陽南 坪地厚	駐屯地	戦時
歩兵第一九〇聯隊第三大隊に配属	八、七、霧雨より陣地構築のため慶源歩兵第二八九聯隊へ配属 八、一、二、團内へ移動 二、三、五、延吉へ移動	水口沿岸に歩兵部隊配属となり陣地構築 八、一八、團内集結武装解除	八、宮寧へ二六〇名、古茂山に歩兵部隊配属となり陣地構築 八、一八、團内集結武装解除	水口沿岸に歩兵部隊配属して陣地構築 八、一八、團内集結武装解除	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動
九、一、延吉第七大隊編成 長少尉石川 九、一三、延吉出發				九、三、第五大隊を編成 長中尉向野保	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別計
九、一、九 クラスキ					満洲残留	收容所 收容所名
						死亡 満洲「ソ」領 より
						計
						者 数

隊名山砲第七九連隊

通稱號奏二一一五八

郵便所名



20. 2. 6  
2496

部本隊大二第	隊中四第	隊中五第	隊中六第	列段隊大二第
<p>大尉 濱地 定義 中尉 吉田 孫助</p>	<p>中尉 高倉</p>	<p>中尉 阿部善右衛門 神田</p>	<p>中尉 伊藤 三郎</p>	<p>少尉 上田 潤一</p>
<p>南方陽南 坪地厚</p>	<p>山茂古</p>	<p>慶源 坪地厚</p>	<p>嶺霧雲</p>	<p>坪地厚</p>
<p>水口對岸に歩兵部隊を配属して陣地構築 八、一八、國領に歩兵部隊を配属 九、三、第五大隊を編成 長少尉同席</p>	<p>八、富平一六〇名、古茂山に歩兵部隊を 配属して陣地構築 八、一八、國領に歩兵部隊を配属</p>	<p>水口對岸に歩兵部隊を配属して陣地構築 八、一八、國領に歩兵部隊を配属</p>	<p>八、七、羅南より陣地構築のため慶源歩兵 第二八九聯隊へ配属 八、一、國領へ移動 二、五、延吉へ移動</p>	<p>歩兵第二九〇聯隊第三大隊に配属</p>
<p>九、一、延吉第七大隊編成 長少尉同席</p>				<p>九、一、延吉第七大隊編成 長少尉同席</p>

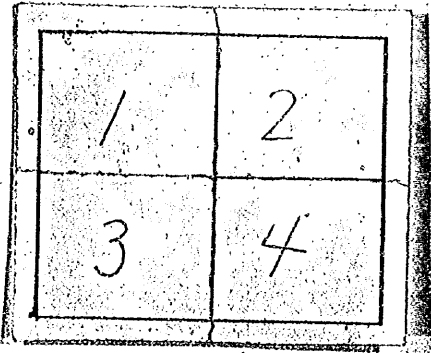
九、一、延吉第七大隊編成  
長少尉同席  
九、一、延吉出動  
一〇、三、出發  
一〇、九、出發  
一〇、九、出發  
第五收容所へ



0554

山 7279

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0557  
0558

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 工兵第七九連隊

通稱號 奏二二二一六〇

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人副編			
<p>二〇、八、九 附隊と同時に聯隊本部第一 中隊、第三中隊に直ちて團 附附近に集結</p> <p>八、一七、ソ軍車塔字街 道より進入約三〇名交戦同 日停戦水口浦に集結</p> <p>八月下旬、團門第三地區に 於いて武装解除</p> <p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>		<p>二〇、三七 工兵一九師 四七五 工兵二補 一 一八 歩兵七六補 一 歩兵七五補 一 他師歩七三補 一 二〇、四七 歩兵一〇補 一 二〇、四一 工兵二補 一 二〇、四二 工兵二補 一 二〇、四三 工兵二補 一 二〇、四四 工兵二補 一 二〇、四五 工兵二補 一 二〇、四六 工兵二補 一 二〇、四七 工兵二補 一 二〇、四八 工兵二補 一 二〇、四九 工兵二補 一 二〇、五〇 工兵二補 一 二〇、五一 工兵二補 一 二〇、五二 工兵二補 一 二〇、五三 工兵二補 一 二〇、五四 工兵二補 一 二〇、五五 工兵二補 一 二〇、五六 工兵二補 一 二〇、五七 工兵二補 一 二〇、五八 工兵二補 一 二〇、五九 工兵二補 一 二〇、六〇 工兵二補 一 二〇、六一 工兵二補 一 二〇、六二 工兵二補 一 二〇、六三 工兵二補 一 二〇、六四 工兵二補 一 二〇、六五 工兵二補 一 二〇、六六 工兵二補 一 二〇、六七 工兵二補 一 二〇、六八 工兵二補 一 二〇、六九 工兵二補 一 二〇、七〇 工兵二補 一</p>		<p>十九年以降</p> <p>十九年以降</p>		<p>20. 2. 6 961</p>		<p>編制人員</p>	
隊	別	隊長名	戰鬥人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ッ迄の變動		
第二中隊	連隊本部	中尉 岸川 文藏 少尉 佐々木 見士 2 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)	戰鬥人員	團 山	八、一七、水口浦にて聯隊長自決 八、一七、水口浦に集結	<p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>	<p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>		
第一中隊	連隊本部	中尉 石毛 史郎 見士 高濱 2 早川 3 4 高濱	戰鬥人員	嶺霧雲	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>		
第二中隊	連隊本部	中尉 岸川 文藏 少尉 佐々木 見士 2 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)	戰鬥人員	團 山	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>		
第二中隊	連隊本部	中尉 岸川 文藏 少尉 佐々木 見士 2 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)	戰鬥人員	團 山	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>間島三國谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊營部に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戰鬥 戦死傷二名其の他損害なし</p>	<p>一、一〇、間島田發</p> <p>一、二六、環春彦</p> <p>二九、環春彦</p>		

名工兵第七九連隊

通稱號 奏二二一六〇

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	戦開人 時員	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソシ迄の變動	入ソシ人員		滿洲残留	收容所		歸還人員 計	狀況不明 者數
		平	戰				除別	計		所入	死亡		
少佐 木村 太郎 副官 清水		們 圖	們 圖 山 茂	八、一七、水口附近にて聯隊長自決、 八、一七、水口附近にて集結						クラスキ クラスキ			
中尉 石毛 史郎 見士 高濱 2 早川 3 4 高濱		們 圖	們 圖 嶺 霧 雲	開島三島谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊機銃に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戦死 戦死傷二名其の他損害なし									
中尉 岸川 文藏 少尉 1 佐々木 見士 2 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)		們 圖		鎮戒附近にて陣地構築及對戰車隊攻撃構築									

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

20. 2. 6  
961

隊小材器	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本	部本隊進
中尉 島崎馬次郎	中尉 加藤 文平 見士 榑原 章司 大類 白川(鮮)	中尉 岸川 文藏 少尉 佐々木 見士 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)	中尉 石毛 史郎 見士 高濱 2 早川 3 高濱 4 高濱		少佐 木村 太郎 中尉 清水 少尉 濱水
們 團	們 團	們 團	們 團	們 團	們 團
			嶺霧雲		嶺霧雲
	間島三陽谷にて陣地構築	間島三陽谷にて陣地構築	間島三陽谷にて陣地構築 第一九一聯隊機銃に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて融斗 戦死傷二名其の他損傷なし		八、一七、水口谷にて陣地構築 八、一七、水口谷にて陣地構築

八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築  
八、一七、水口谷にて陣地構築

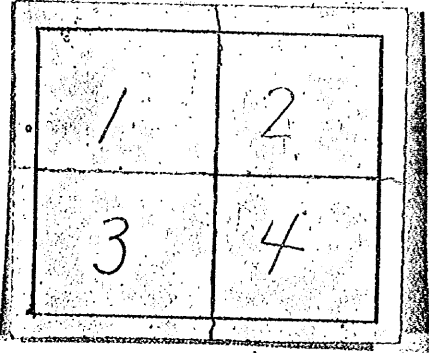
隊小材器	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本	部本隊進
中尉 島崎馬次郎	中尉 加藤 文平 見士 榑原 章司 大類 白川(鮮)	中尉 岸川 文藏 少尉 佐々木 見士 國井義孝 3 市山 4 新宮 5 金泉(鮮)	中尉 石毛 史郎 見士 高濱 2 早川 3 4 高濱		少佐 木村 太郎 副官 清水
們 圖	們 圖	們 圖	們 圖	們 圖	們 圖
			嶺霧雲		們 圖 嶺 山
	間島三陽谷にて陣地構築	間島附近にて陣地構築及奇襲準備等構築	間島三陽谷にて陣地構築、一ヶ小隊は歩兵 第二九一聯隊隊務に配属 一ヶ分隊は馬乳山にて戦斗 戦死傷二名其の他損害なし		八、一七、水口密に 八、一七、水口密に 八、一七、水口密に
				一、一、一〇、間島出發 一、一、二六、環奈着 一、二九、出發	
				十三〇、 クラスキ	クラスキ



0559

79P

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0560  
0561  
0562  
0563

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 第七九師團通信隊 通稱號 奏二二一一六一 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編制	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	入ソ連の變動	隊別計	滿洲残留	
七、三三、團門下移動 八、一七、南陽にて武裝解除(一部) 八、一八、間島收容所に収容 八、一九、主力は團門下、武裝解除約二二〇名 九、一〇、間島にて作業第一六大隊編成 長准尉 木村等一 本一〇九連(通信隊、制隊、兵隊勤務隊)		二〇、三七 一九師團補 一八六 轉一九補 步七六補 四 步七五補 三 步七三補 二 二〇、四 一九師團補 二〇、六、二四 奏二二五二 奏二二五六 奏二二五八 奏二二五四	二〇、四、三 一九師團補 奏二二五二 奏二二五四 奏二二五八 奏二二五四 奏二二五二 奏二二五八 奏二二五四	239	本隊	長 大尉 井上 四郎 准尉(指揮班長) 上野野東藏	戰鬥せず	們 圖 們 圖	戰鬥せず	戰鬥せず	戰鬥せず	戰鬥せず	戰鬥せず	戰鬥せず
隊小三第線有	隊小二第線有	隊小一第線有	部											
少尉 吉川 勇	准尉 上野野東藏	曹長 三浦 重雄	少尉 八島 哲雄											
線無														

第七九師團通信隊

通稱號 奏二一一六一

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	開人 戦時	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員		満洲残留	收容所		死亡	滿洲より ソ領計	歸還人員	狀況不明 者數
		平時	戦時				隊別	計		收容所名	所人				
長 大尉 井上 四郎 准尉(指揮班長) 上野野東藏															
少尉 八島 善雄															
曹長 三浦 重雄															
准尉 上遠野東藏															
少尉 吉川 勇															

七、一五、團員を移駐  
 八、一七、南島にて武装解  
 除(一部)  
 八、一八、南島收容所に収  
 容  
 八、一九、主力は團員に  
 武装解除約二〇名  
 九、一〇、開島にて作業完  
 一六六隊編成  
 長准尉 木村第一  
 水、火地区(通信隊、制  
 隊、兵器班隊)

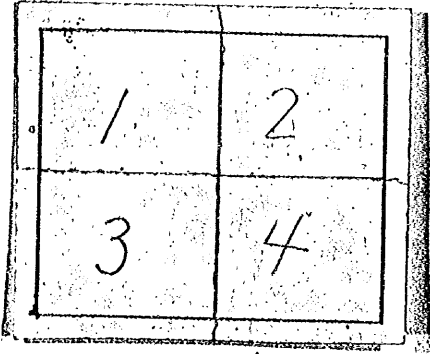
二〇、三七  
 一九〇通部  
 一八六  
 輔一九通部  
 歩七六通部  
 歩七五通部  
 歩七三通部  
 二〇、四  
 七四通部  
 二〇、五  
 山砲一九通部

班 李 行	隊小二第線無	隊小一第線無	隊小三第線有	隊小二第線有	隊小一第線有	部	本
	少尉 若林 榮一	少尉 吉川 勇	准尉 上遠野 東城	曹長 三浦 重雄	少尉 八島 吾雄		大尉 井上 四郎 准尉(指揮班長) 上遠野 東城

班 李 行	隊小二第線無	隊小一第線無	隊小三第線有	隊小二第線有	隊小一第線有	部 本
	少尉 若林 榮一	少尉 吉川 勇	准尉 上遠野東藏	曹長 三浦 重雄	少尉 八島 哲雄	大尉 井上 四郎 准尉(兼)三浦 重雄(兼) 少尉 八島 哲雄

メーデー  
(昭和十三年)三月  
支那駐留隊

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0565  
0566  
0567

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 輜重兵第七九連隊 通稱號 奏二一一六一 郵便所名

全般概要		轉入		轉出		人員編制		隊別		隊長名		開入時		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ迄の變動		入ソ人員		滿洲残留		收容所名							
<p>詳説地帯地帯援助のため陸送勤務從事中開戦</p> <p>八、一四、將校一名兵三〇名(雜商)</p> <p>八、一七、本隊復辟</p> <p>八、一九、停戦命令にて團に集結、主力は八月一日一部は八月十九日第二中隊に八月二〇日團に於て受被解除</p> <p>八、二五、延吉收容所に轉送</p> <p>九、一二、作業第一一七大隊編成</p> <p>歩兵第二九一師團(陸務部)別隊</p> <p>一〇、一、復讐者は入ソ、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一〇</p>		<p>二〇、二一、中央馬會支</p> <p>二〇、三二、七</p> <p>二〇、三三、七</p> <p>二〇、三六、二五</p> <p>二〇、三九、二二</p> <p>二〇、四一、二六</p> <p>二〇、四二、二</p> <p>二〇、四三、二</p> <p>二〇、四四、二</p> <p>二〇、四五、二</p> <p>二〇、四六、二</p> <p>二〇、四七、二</p> <p>二〇、四八、二</p> <p>二〇、四九、二</p> <p>二〇、五〇、二</p> <p>二〇、五一、二</p> <p>二〇、五二、二</p> <p>二〇、五三、二</p> <p>二〇、五四、二</p> <p>二〇、五五、二</p> <p>二〇、五六、二</p> <p>二〇、五七、二</p> <p>二〇、五八、二</p> <p>二〇、五九、二</p> <p>二〇、六〇、二</p> <p>二〇、六一、二</p> <p>二〇、六二、二</p> <p>二〇、六三、二</p> <p>二〇、六四、二</p> <p>二〇、六五、二</p> <p>二〇、六六、二</p> <p>二〇、六七、二</p> <p>二〇、六八、二</p> <p>二〇、六九、二</p> <p>二〇、七〇、二</p> <p>二〇、七一、二</p> <p>二〇、七二、二</p> <p>二〇、七三、二</p> <p>二〇、七四、二</p> <p>二〇、七五、二</p> <p>二〇、七六、二</p> <p>二〇、七七、二</p> <p>二〇、七八、二</p> <p>二〇、七九、二</p> <p>二〇、八〇、二</p> <p>二〇、八一、二</p> <p>二〇、八二、二</p> <p>二〇、八三、二</p> <p>二〇、八四、二</p> <p>二〇、八五、二</p> <p>二〇、八六、二</p> <p>二〇、八七、二</p> <p>二〇、八八、二</p> <p>二〇、八九、二</p> <p>二〇、九〇、二</p> <p>二〇、九一、二</p> <p>二〇、九二、二</p> <p>二〇、九三、二</p> <p>二〇、九四、二</p> <p>二〇、九五、二</p> <p>二〇、九六、二</p> <p>二〇、九七、二</p> <p>二〇、九八、二</p> <p>二〇、九九、二</p> <p>二〇、一〇〇、二</p> <p>二〇、一〇一、二</p> <p>二〇、一〇二、二</p> <p>二〇、一〇三、二</p> <p>二〇、一〇四、二</p> <p>二〇、一〇五、二</p> <p>二〇、一〇六、二</p> <p>二〇、一〇七、二</p> <p>二〇、一〇八、二</p> <p>二〇、一〇九、二</p> <p>二〇、一一〇、二</p> <p>二〇、一一一、二</p> <p>二〇、一一二、二</p> <p>二〇、一一三、二</p> <p>二〇、一一四、二</p> <p>二〇、一一五、二</p> <p>二〇、一一六、二</p> <p>二〇、一一七、二</p> <p>二〇、一一八、二</p> <p>二〇、一一九、二</p> <p>二〇、一二〇、二</p> <p>二〇、一二一、二</p> <p>二〇、一二二、二</p> <p>二〇、一二三、二</p> <p>二〇、一二四、二</p> <p>二〇、一二五、二</p> <p>二〇、一二六、二</p> <p>二〇、一二七、二</p> <p>二〇、一二八、二</p> <p>二〇、一二九、二</p> <p>二〇、一三〇、二</p>		<p>二〇、三二、七</p> <p>二〇、三九、二二</p> <p>二〇、四一、二六</p> <p>二〇、四二、二</p> <p>二〇、四三、二</p> <p>二〇、四四、二</p> <p>二〇、四五、二</p> <p>二〇、四六、二</p> <p>二〇、四七、二</p> <p>二〇、四八、二</p> <p>二〇、四九、二</p> <p>二〇、五〇、二</p> <p>二〇、五一、二</p> <p>二〇、五二、二</p> <p>二〇、五三、二</p> <p>二〇、五四、二</p> <p>二〇、五五、二</p> <p>二〇、五六、二</p> <p>二〇、五七、二</p> <p>二〇、五八、二</p> <p>二〇、五九、二</p> <p>二〇、六〇、二</p> <p>二〇、六一、二</p> <p>二〇、六二、二</p> <p>二〇、六三、二</p> <p>二〇、六四、二</p> <p>二〇、六五、二</p> <p>二〇、六六、二</p> <p>二〇、六七、二</p> <p>二〇、六八、二</p> <p>二〇、六九、二</p> <p>二〇、七〇、二</p> <p>二〇、七一、二</p> <p>二〇、七二、二</p> <p>二〇、七三、二</p> <p>二〇、七四、二</p> <p>二〇、七五、二</p> <p>二〇、七六、二</p> <p>二〇、七七、二</p> <p>二〇、七八、二</p> <p>二〇、七九、二</p> <p>二〇、八〇、二</p> <p>二〇、八一、二</p> <p>二〇、八二、二</p> <p>二〇、八三、二</p> <p>二〇、八四、二</p> <p>二〇、八五、二</p> <p>二〇、八六、二</p> <p>二〇、八七、二</p> <p>二〇、八八、二</p> <p>二〇、八九、二</p> <p>二〇、九〇、二</p> <p>二〇、九一、二</p> <p>二〇、九二、二</p> <p>二〇、九三、二</p> <p>二〇、九四、二</p> <p>二〇、九五、二</p> <p>二〇、九六、二</p> <p>二〇、九七、二</p> <p>二〇、九八、二</p> <p>二〇、九九、二</p> <p>二〇、一〇〇、二</p> <p>二〇、一〇一、二</p> <p>二〇、一〇二、二</p> <p>二〇、一〇三、二</p> <p>二〇、一〇四、二</p> <p>二〇、一〇五、二</p> <p>二〇、一〇六、二</p> <p>二〇、一〇七、二</p> <p>二〇、一〇八、二</p> <p>二〇、一〇九、二</p> <p>二〇、一一〇、二</p> <p>二〇、一一一、二</p> <p>二〇、一一二、二</p> <p>二〇、一一三、二</p> <p>二〇、一一四、二</p> <p>二〇、一一五、二</p> <p>二〇、一一六、二</p> <p>二〇、一一七、二</p> <p>二〇、一一八、二</p> <p>二〇、一一九、二</p> <p>二〇、一二〇、二</p> <p>二〇、一二一、二</p> <p>二〇、一二二、二</p> <p>二〇、一二三、二</p> <p>二〇、一二四、二</p> <p>二〇、一二五、二</p> <p>二〇、一二六、二</p> <p>二〇、一二七、二</p> <p>二〇、一二八、二</p> <p>二〇、一二九、二</p> <p>二〇、一三〇、二</p>		<p>1003</p>		<p>連隊本部</p>		<p>第一中隊</p>		<p>第二中隊</p>		<p>中隊長 (中尉最上良胤) (少尉吉井市藏) (少尉齋藤一郎) 1 少尉 朝田哲郎 2 見士 白石英二 3 不明</p>		<p>中隊長 松村 茂 1 軍曹 岡崎俊正 2 少尉 大友榮二 3 軍曹 三浦武壽郎</p>		<p>開入時</p>		<p>駐屯地</p>		<p>戰鬥間の状況及損耗</p> <p>南滿地帯の陣地構築 各中隊は配属され、概ね任務遂行 終戦後、各隊は集結を計るも連絡つかず 八、一八、團に於て武装解除</p>		<p>終戦後の人員變動</p> <p>團に於て將校兵分離さる。</p> <p>九、一四、主力作業大隊に編入され入ソ 開始に於て</p>		<p>作業大隊より入ソ迄の變動</p>		<p>入ソ人員</p>		<p>滿洲残留</p>		<p>收容所名</p> <p>コムンゴ 第二分所 二三、三、第一分所 (山砲一五〇名轉屬)</p>	



車兵第七九連隊

通稱號奏二一一六一

郵便所名

長名 は先代を示す	開入 戦員	駐屯地 平戦時	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	隊別計	滿洲殘留	收容所名	所人員	死亡	歸還人員	狀況不明者數
遠藤 卓次 齋藤 三治		們 圖	戰鬥間の状況及損耗 南滿地域の陣地構築 各中隊は配属され、任務遂行 終戦後部隊編成を計るも連絡つかず 八、一八、圖們にて武装解除	圖們にて將校兵分離さる。				收容所名 コムンモリスク 第二分所 二三、三、第一分所 (山砲一五〇名轉 属)	所人員	死亡	滿洲より ソ領より	狀況不明者數
尉最上良胤 尉吉井市藏 尉齋藤一郎 朝田哲郎 白石英二		們 圖	戰鬥間の状況及損耗 八、一八、圖們にて武装解除	九、一四、主力作業大隊に編入され入ソ 間島に於て								
松村 茂 岡崎俊正 大友榮二 三浦武壽郎		們 圖	戰鬥間の状況及損耗 第二小隊慶源附近にて戦車内及び第一〇名 別行動に依り中隊合流せず 行方不明 一二名 其の他約 一〇名 八、一八、約一三〇名圖們にて武装解除									
		們 圖	戰鬥間の状況及損耗 八、一八、圖們にて武装解除									

<p>八、二五、延吉收容所に轉 八、二九、停戦命令にて開 門に於て、主力は八月一八 日一部は八月一九日第二中 隊は八月二〇日開門にて武 装解除</p>	<p>八、一四、將校一名兵三〇 名(注)</p>	<p>八、一七、本隊復讐</p>	<p>二〇、二一、 中央司令部</p>	<p>二〇、二二、 歩兵七九</p>	<p>二〇、二三、 七九師團</p>	<p>二〇、二四、 水師団二</p>	<p>二〇、二五、 水師団三</p>	<p>二〇、二六、 平師團</p>	<p>二〇、二七、 水師団四</p>	<p>二〇、二八、 水師団五</p>
---	------------------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------

1003

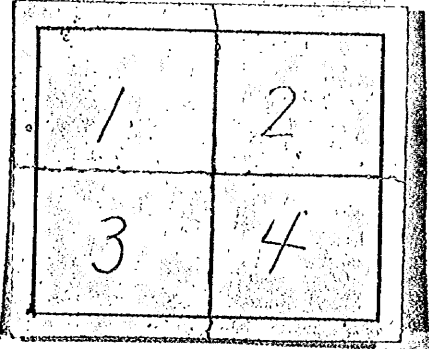
自働軍第三中隊	鞍馬第二中隊	鞍馬第一中隊	連隊本部
<p>中隊長 石井 源吾 大尉 竹内 茂 見士 大野 茂 見士</p>	<p>中隊長 松村 茂 中尉 岡崎俊正 1軍曹 大友榮二 2少尉 浦武壽郎 3軍曹 三浦武壽郎</p>	<p>中隊長 (中尉最上良胤) (少尉吉井市藏) (少尉齋藤一郎) 1少尉 朝田哲郎 2見士 白石英二 3不明</p>	<p>聯隊長 遠藤 卓次 少佐 齋藤 三代治 副官</p>
關 隘	門 閘	坪地厚	門 閘
<p>彈藥種林檢査に任ず 自動車第一小隊は第一中隊に附屬</p>	<p>第二小隊は附近にて機中肉攻負傷一〇名 別行動に依り中隊合流せず 行方不明 一二名 其の他約 一〇名 八、一八、約一三〇名開門にて武装解除</p>	<p>彈藥種林檢査に任ず、機中せず 八、一八、開門にて武装解除</p>	<p>南滿鐵軍の駐屯地は、 各中隊は部隊を各々、 後援司令部は、 八、一八、開門にて武装解除</p>

九、一四、主力作業大隊に編入され入ソノ  
間爲に於て

自 動 車 第 三 中 隊	鞍 馬 第 二 中 隊	鞍 馬 第 一 中 隊	進 隊 本 部
<p>中隊長 大尉 石井 源吾 見士 竹内 茂 見士 大野 茂</p>	<p>中隊長 中尉 松村 茂 1 軍曹 岡崎俊正 2 少尉 大友榮二 3 軍曹 三浦武壽郎</p>	<p>中隊長 (中尉最上良胤) (少尉吉井市藏) (少尉齋藤一郎) 1 少尉 朝田哲郎 2 見士 白石英一 3 不明</p>	<p>中隊長 少佐 遠藤 卓次 副官 齋藤三代治</p>
			<p>同 同</p>
<p>關 隘</p>	<p>門 閘</p>	<p>坪地厚</p>	<p>同 同</p>
<p>砲臺極稀疎に任ず 自動車第一小隊は第一中隊に配属</p>	<p>第二小隊は隊附近にて戦車肉攻食糧一〇名 別行動に依り中隊合流せず 行方不明一二名 其の他約一〇名 八、一八、約一三〇名圍つて武装解除</p>	<p>砲臺極稀疎に任ず、戦車せず 八、一八、圍つて武装解除</p>	<p>砲臺極稀疎の坪地砲臺 各中隊に砲臺を任せ、砲臺任務遂行 砲臺交戦後隊員を討つるも連絡つかず 八、一八、圍つて武装解除</p>
		<p>九、一四、主力作業大隊に編入され入「ソ」 間隙に於て</p>	<p>同 同</p>
			<p>同 同</p>
			<p>同 同</p>
			<p>同 同</p>
			<p>同 同</p>

ニムソモリニク  
第二分所  
三三三、第一分所  
(山砲一五〇名發  
砲)

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0520  
0521

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 第七九師團兵器勤務隊 通稱號 奏二二一一六四 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	人員編制	隊別	隊長名	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	隊別計	滿洲残留
<p>二〇、三、一〇、雜部隊に一新編成(現役兵三分の二、五兵三分の一、各師團各部隊の兵器修理に任ず。六月作命により、南滿洲鐵道地帯の各部隊へ夫々配屬せしむ。</p> <p>七、一三、二〇、總演習のため南滿に移駐。</p> <p>八、九、以降は各所屬部隊に於て任務に邁進歩兵二九一隊隊附兼せるものは戰鬥に參加本部は南滿洲間の清潔隊に任ず。</p> <p>八、一七、停戰命令。</p> <p>八、一八、隊長以下約一五名は南滿を出發南滿方面に脱出の途中羅南に於いて数名死傷行動す。</p> <p>隊長は白岩にて井本部隊長と行動を共に白岩收容所に入る。</p> <p>本部及第三小隊は南滿洲(武解)第二、一小隊不明)</p> <p>八、一九、間島に移送され全員乗船す。</p> <p>九、二、間島發クラスキー經由入「ソ」。</p> <p>(作業二五大隊)</p>		<p>十九年以降</p> <p>二〇、三、一〇、七</p> <p>歩兵七六</p> <p>四六</p> <p>雜一九一〇</p> <p>工兵二〇〇</p> <p>充隊</p> <p>歩兵七九</p> <p>八</p> <p>山砲二五補充</p> <p>七五隊補充</p> <p>歩七三補</p> <p>三</p> <p>羅南隊病</p> <p>二</p> <p>二〇、四、二五</p> <p>工兵二補</p> <p>二</p> <p>二〇、六、二四</p> <p>歩兵二八九</p> <p>二〇、六、三〇</p> <p>混成一〇一</p>	<p>十九年以降</p> <p>二〇、七、一五</p> <p>關東隊一</p>	<p>20. 2. 6</p> <p>81</p>	<p>小 二 第</p> <p>隊 小 一 第</p> <p>部 本 隊 務 勤</p>	<p>少佐 鈴木 惣志</p> <p>(内は先代を示す)</p>	<p>南 陽</p> <p>南 陽</p>	<p>南陽地方高地附近</p> <p>南陽地方高地附近</p>	<p>南陽地方高地附近の清潔隊に任ずるも戰鬥なり八、九、以降各小隊は總隊下任務遂行南滿洲間の清潔隊の配屬に就く。</p> <p>歩兵第二九一隊隊に配屬せられ戰鬥に參加戦死一名(羅南第四部隊に配屬)</p> <p>歩兵第二八九隊隊に配屬(羅南第三部隊に編入)</p>	<p>終戦後の人員變動</p>	<p>作業大隊より入「ソ」迄の變動</p>	<p>隊別計</p> <p>滿洲残留</p>

第七九師團兵器勤務隊

通稱號 奏二一一六四

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)			開入 戦時員			駐屯地			戦時			戦闘間の状況及損耗			終戦後の人員變動			作業大隊より 入ソ返の變動	入ソ人員 豫別計	満洲残留	收容所名	收容所 死亡	満洲ソ領 より人員計	状況不明 者数				
少佐 鈴木 惣志					南陽					南陽			南陽方面の橋梁破壊に任ずるも戦斗なし 八、九、以降各小隊は砲撃下任務遂行 南陽方面の鉄橋破壊の任務に就く									コムソモリスク						
	慶源	鏡城											歩兵第二九一聯隊に配属せられ戦斗に参加 戦死一名(重砲第四部隊に配属)															
	近附地高方南陽南												歩兵第二八充隊に配属 (重砲第三部隊に編入)															

八、一八、隊長以下約一五  
 名は南陽を出發南陽方面に  
 脱出の途中羅南に於いて敵  
 名宛分隊行動す  
 隊長は百若にて井本部隊長  
 と行動を共に白岩收容所に  
 入る  
 本部及第三小隊は固守に  
 式解(第二、一小隊不明)  
 八、一九、間島に移送され  
 全員捕縛す  
 九、一二間島渡クヌキ  
 經由入「ソ」  
 (作業二五六隊)

二〇、三、七  
 歩兵二六六  
 七五隊隊補充  
 隊  
 歩兵三三三  
 羅南隊補充  
 二  
 二〇、四、二五  
 工兵二補  
 二〇、六、二四  
 歩兵二八九  
 二〇、六、三〇  
 流成一〇一

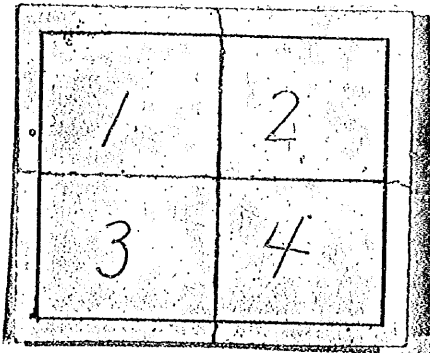
20. 2. 6  
81

隊 小 三 第	隊 小 二 第	隊 小 一 第	部 本 隊 務 勤
陽 南	城 鏡	源 慶	陽 南
近附地高方西們圖	近附地高方南陽南	近附地高方南戒訓源慶	陽 南
歩兵第二九〇隊に配属 八、一四、以後隊半戦死二名 (羅南第三部隊に編入)	歩兵第二八九隊に配属 (羅南第三部隊に編入)	歩兵第二九一隊に配属せられ戦死二名 戦死一名(羅南第四部隊に配属)	羅南方面の捕縛隊に配属せられ戦死二名 八、一九、以後隊半戦死二名 (羅南第三部隊に編入)

隊 小 三 第	隊 小 二 第	隊 小 一 第	部 本 隊 器 銃
			少佐 鈴木 惣志
陽 南	城 鏡	源 慶	陽 南
近附地高方西側園	近附地高方南陽南	近附地高方南戒訓源慶	陽 南
歩兵第二九〇隊隊に配属 八、一四、以後戦斗戦死二名 (露南第二部隊に編入)	歩兵第二八九隊隊に配属 (露南第三部隊に編入)	歩兵第二九一隊隊に配属せられ戦斗に参加 戦死一名(露南第四部隊に配属)	露南西側の各隊隊に任ずる。戦斗中 八、九、以後各小隊は露南下任隊隊の 露南西側の各隊隊の戦死に就く
			コムソモリスク



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3判以上のため
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0573  
0574  
0575

全般概要		所 属	
轉入		第一方面軍第三軍	
轉出		第七九師團	
人員制編		部隊名	
200		第七九師團衛生隊	
別 除		通稱號	
隊長名		奏二一一六六	
戰 闘 人		郵便所名	
駐屯地		戰鬥間の状況及損耗	
平時戦時		終戦後の人員變動	
門 園		作業大隊より	
戰鬥時間		入「ソ」返の變動	
人員		入「ソ」人員	
隊別計		滿洲殘留	

第七九師團衛生隊

通稱號 奏二一一六六

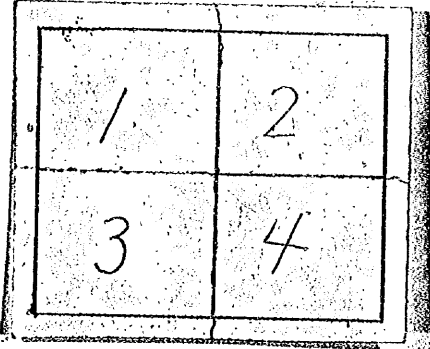
郵便所名

隊長名 ( )内は先代を示す		開人 戦時	
駐屯地		平時	
戰鬥間の状況及損耗		戦時	
終戦後の人員變動		戰鬥	
作業大隊より 入「ソ」迄の變動		圖	
入「ソ」人員		隊別計	
滿洲殘留			
收容所名		收容所	
死亡		所入	
滿洲より領		死亡	
計		歸還人員	
者數		狀況不明	





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0579  
0579  
0579

全般概要		二〇、八、一〇、編成開始 八、一五、動員完結に至らずして終戦	
轉入	轉出	二〇、八、七、行李要員として輸送十九師団より熊谷隊長以下二五名	
人員編制		300	
隊名		第七九師團第一野戰病院	
隊長名		大尉 石田 實一 副官 衛雅 武藤 政秋 (歸還)	
戰時人員	平時人員	南 羅 們 園	
駐屯地		南 羅 們 園	
戰鬥間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より入ソノ迄の變動			
隊別計	入ソノ人員		
滿洲残留			

第一方面軍第三軍 第七九師團 部隊名 第七九師團第一野戰病院 通稱號 奏二二二六七 郵便所名

第七九師團第一野戰病院

通稱號 奏二二三六七

郵便所名

隊長名  
(内は先代を示す)

大尉 石田 實一  
副官 衛准  
武藤 政秋  
(歸還)

開人  
戦時  
人員

駐屯地  
平時  
戦時  
人員

南 羅 門 園

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入ッ迄の變動

入ッ人員  
隊別  
計

滿洲  
残留

收容所  
收容所名  
所人  
死亡

歸還人員  
滿洲  
より  
計

狀況不明  
者  
數



三〇、八、一〇、編纂部  
六、一、一、編纂部  
六、一、一、編纂部

三〇、八、一〇、編纂部  
六、一、一、編纂部  
六、一、一、編纂部

300

大野 三三 一  
副官 三三 一  
武蔵 三三 一  
(編輯)

三三 一

三三 一

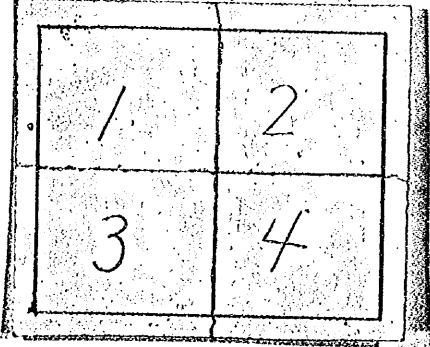
大尉 五百 貫一  
副官 衛准  
武藏 政秋  
(附録)

南 羅

何 國

卷

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	